

平成 28 年 10 月 28 日

在留邦人の皆様へ

在マナウス日本国総領事館
領 事 部

治安情報「Nossa Senhora das Graças 地区にて発生した強盗事件について」

1 事件の概要

10月26日（水）の午後1時頃、マナウス市ノッサ・セニョーラ・ダス・グラッサス地区ヒオ・マール通りイドーズ公園（Parque do Idoso）にて強盗事件が発生しました。果物ナイフを所持した犯人2人組は、被害者の老人（78歳）が車に乗り込んだところを狙い、車内へと侵入、その後、金品を渡すよう要求するも、被害者が抵抗したため、被害者の顔と手を切りつけ逃走しました。犯人組は現場近くのレストランの常連客でした。

2 総領事館からのお願い

犯罪者は標的を選びます。被害者にならないための対策を心掛けましょう。

- ・周囲に溶け込む服装（アクセサリも控えめに）を心がける。
- ・大金を持ち歩かない。（被害を大きくしないために。）
- ・貴重品は見せない。（スマートフォンも見せない。）
- ・警戒心を持って（かつ出来れば集団で）行動する。
- ・車両乗降時の周囲の警戒。

万が一、被害に遭われた場合は、生命の安全を第一に考え行動して下さい。

- ・慌てず冷静に対処する（急な動作で相手を刺激しない）。
- ・絶対に抵抗をしない。
- ・相手の顔を直視しない（抵抗の意味で顔を覚えられたと捉えられる）。
- ・反撃すると誤解されないように、相手に無断でポケットや鞆などに手を入れない（両手を挙げた体制からポケットに指を指す工夫など）。

以 上